

中山間地域における集落間連携の現状と課題
— 中山間地域等直接支払での複数集落1協定に着目して —

目 次

	ページ
1. 研究の目的と方法 -----	1
(1) 研究の目的 -----	1
(2) 研究の方法 -----	2
(3) 本資料の構成 -----	3
2. 連携集落の属性と農業構造 — 農業集落を単位とした統計分析による接近 — -----	5
(1) 連携集落の位置づけと類型化 -----	5
(2) 連携集落の立地属性と性格 — 協定締結前の実態 — -----	8
(3) 連携集落の農業構造変化 — I 期対策下での変化 — -----	13
3. 集落協定の統合による協定活動の変化 — 集落協定データの分析 — -----	18
(1) 分析対象集落協定の抽出 -----	18
(2) 協定統合前と統合後の活動状況の比較 -----	19
(3) 協定統合による効果 — アンケート調査の分析 — -----	24
4. 集落間連携実施地区における活動状況 — 現地実態調査から — -----	33
(1) 福島県鮫川村「西山二区集落協定」 -----	33
(2) 長野県安曇野市「中村神谷集落協定」 -----	37
(3) 山口県萩市「第13農区集落協定」 -----	43
(4) 大分県中津市「西谷上集落協定」 -----	47
(5) 熊本県芦北町「永谷集落」(小規模・高齢化集落支援モデル事業実施地区) -----	51
5. ま と め — 集落間連携の推進に向けて — -----	58
(1) 統計分析からみた連携集落の姿 -----	58
(2) 連携事例にみる集落活動の変化と地域効果 -----	60
(3) 集落間連携の推進に向けた課題 -----	63

〔執筆分担〕

橋詰 登（農業・農村領域主任研究官）	1.	2.	4. (1)	4. (5)	5.
江川 章（農業・農村領域主任研究官）	4. (3)	4. (4)			
高岸陽一郎（政策研究調査官）	3.	4. (2)			